

Vol.217 CONTENTS BRIEFING

～今号記事の概要説明～

「理事会」開催 P4

本年度第2回「理事会」が11月10日（火）に開催されました。「N-Torus運営委員会」「N-Torus技術専門部会」の設置が正式に承認され、上半期の事業活動報告が行われた後、SIP「スマート物流サービス」でSPD（サブプログラムディレクター）の坂本浩之氏よりご講演をいただきました。その内容は今号の「持続可能な物流の構築」関連（51ページ）に掲載しています。

「情報システム研修会」開催 P6

本年度の「情報システム研修会」はコロナ禍の現状を鑑み、日食協会議室よりのウェビナーによるオンライン開催となりました。初めての試みではありましたが、講師の方々の講演内容も明瞭に伝わり、視聴された方から大変好評をいただきました。今後の新たな研修のあり方として、更に充実を図って行きたいと思います。

各支部「経営実務研修会」開催 P7

北陸、東北、関東の各支部で恒例の「経営実務研修会」が開催されました。各支部長よりの挨拶、日食協活動報告の後、公益財団法人流通経済研究所の石川友博氏より「SDGS時代における企業経営」との演題にて講演をいただきました。時を得たテーマであり、その内容は今号のシリーズ「食品ロスの削減（4）」で掲載しています。

「賛助会員幹事店会」開催 P10

「賛助会員幹事店会」は賛助会員13社の幹部の方々と日食協政策委員会・食品取引改善協議会委員との合同ミーティングで、年に2回、定期的に行っています。11月17日（火）に開催された会では、「加工食品流通のリードタイム延長問題」を取り上げ、それぞれ意見を述べ合い、今後も議論を継続していくことを確認しました。その討議内容を掲載します。

「N-Torus」導入・稼働状況 P 15

「N-Torus（日食協トラック入荷受付・予約システム）」の稼働拠点は12月1日現在で14企業69拠点となりました。理事会で正式な承認を得た「N-Torus 運営委員会」と「N-Torus 技術専門部会」は既に活動を開始しており、今後の拠点拡大と品質の向上に向けて、更にスピードを上げていきます。

シリーズ「消費税インボイス制度への対応（4）」 P17

去年6月から開始した「インボイス制度対応専門部会」は12月までに8回開催され、全体的な検討をほぼ終えて、年度末までに「手引き書」を完成させる工程に入りました。何をもって「インボイス」とするかが、一番のポイントですが、今号ではその考え方を中心に報告します。

シリーズ「食品ロスの削減（４）」…………… P22

今号では、各支部での経営実務研修会で講演された、公益財団法人流通経済研究所の石川友博氏
が使用された資料を掲載しました。石川氏は以前から食品ロス削減のテーマに取り組んでおられ、今回
の講演では食品ロス削減の最新事情を紹介して、このテーマが新たな段階に入っているとの報告があり
ました。詳細に分かり易く整理された資料ですので、現状を理解するうえで大変参考になると思います。

「持続可能な物流の構築」関連テーマ…………… P51

今号では、理事会及び情報システム研修会で講演された、内閣府SIP「スマート物流サービス」SP
Dの坂本浩之氏と公益財団法人流通経済研究所専務理事の加藤弘貴氏の資料を掲載しました。SIP
(戦略的イノベーション創造プログラム)は政府が進める国家プロジェクトであり、その成否は今後の我が
国の世界における地位を左右するものとなり得ます。その概要を整理されたものですので、是非ご確認
ください。また加藤氏の講演は「製・配・販連携協議会」の活動に関するもので、ロジスティックス最
適化WGの活動を中心に報告されています。賛助会員幹事店会で議論した「加工食品流通のリードタ
イム延長問題」はこの協議会での検討が前提となっており、その内容も網羅されています。

会報に関するご意見、ご指摘がございましたら、協会事務局までお寄せください。

(nsk-nhk@nifty.com) 皆さまの声を会報編集の参考にさせていただきます。

